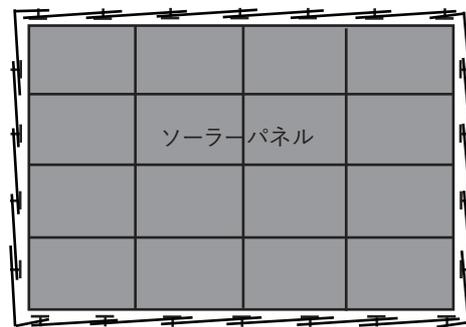
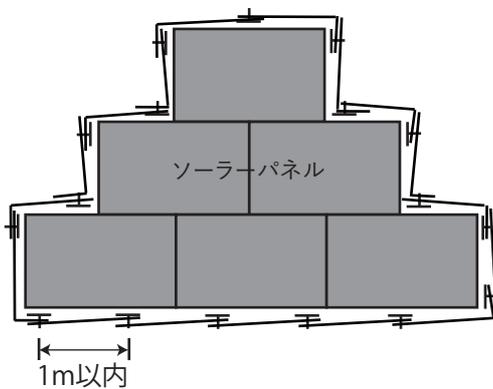


バードブロッカー 取付説明書

1) 割り付け図 取り付け前に、部材の割り付けを確認して下さい。

- 1m以内の間隔、又はコーナー部にバランス良く伸縮金具を配置します。
- パネルのサイズはメーカーによって異なりますので実際の割り付けは現況に応じて対応して下さい。

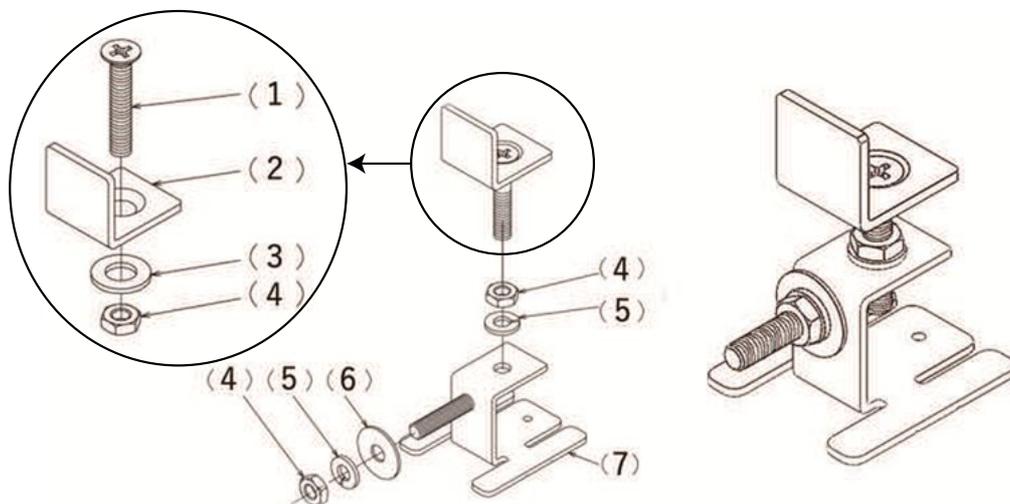
<例1> ⊥ …伸縮金具 ——— …フェンス <例2>



【設置前の注意】

- フェンスの切断面でケガをしないよう十分ご注意ください。
- 取り付け面に合った屋外用強力両面テープもしくは速乾性のある屋外用ボンドをご用意下さい。
- 取り付け場所の清掃を十分に行い、油分・水分を取り除いた状態で作業に入して下さい。

2) 伸縮金具の部品構成



※皿ネジ3本セットの場合は隙間に適した皿ねじを選んで組み替えてご利用下さい

- (1) 皿ネジ (S /35mm、M /55mm、L /75mm) (2) アングル…1個 (3) 平座金…1個
 (4) 六角ナット…3個 (5) ばね座金…2個 (6) 押さえプレート…1個 (7) ブラケット…1個

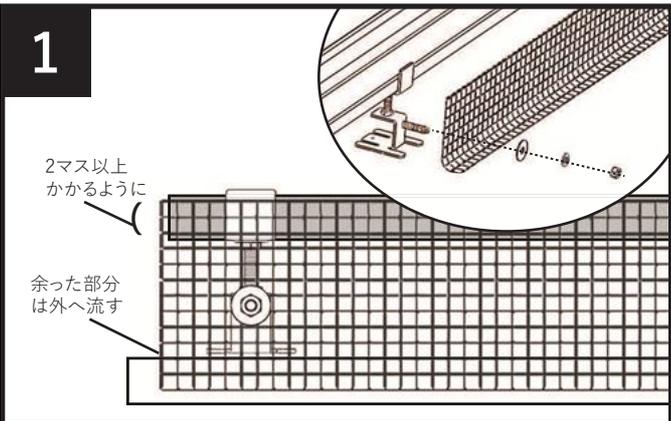
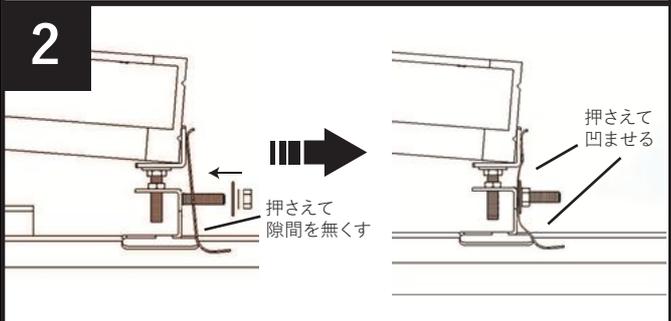
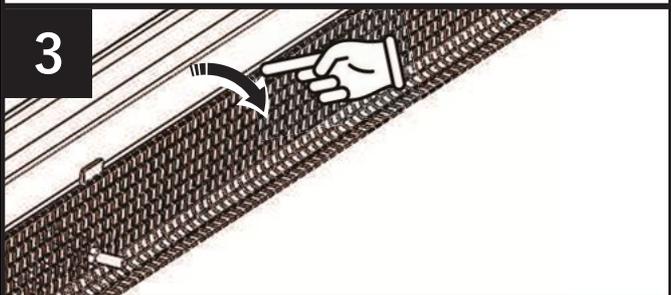
3) 取り付け方法

3-1. 伸縮金具を取り付ける

<p>1</p>	<p>■ 取り付け場所の隙間寸法【A】を測る。</p> <p>※ 割り付け状況によっては架台レール下【B】又は化粧カバー下【C】に取り付ける場合があります。状況に応じて取り付けて下さい。</p> <p>※ 伸縮金具は隙間の高さ40mm未満の所へは取り付けできません。ご注意ください。</p>
<p>2</p>	<p>■ ボルト部を回転させて、伸縮金具の長さを調整して下さい。</p> <p>下記隙間寸法に合わせて皿ネジをお選び下さい。</p> <ul style="list-style-type: none">(40～60mm→皿ネジS)(60～80mm→皿ネジM)(80～100mm→皿ネジL) <p>※ ボルトを回転させる時に電動ドライバー等で高速回転させないで下さい。本製品はオールステンレス製の為、高速回転で生じる熱でボルト・ナット部が固着する可能性があります。</p>
<p>3</p>	<p>■ 伸縮金具のL型台座と伸縮金具の底部に両面テープの貼り付けか、ボンドを塗布して下さい。</p> <p>※ 設置面がフラットでない場合は『3-2』の<設置面がフラットでない場合>をご参照下さい。</p> <p>※ 取り付け面に合った屋外用強力両面テープもしくは速乾性のある屋外用ボンドを使用して下さい。</p>
<p>4</p>	<p>■ 伸縮金具を設置します。</p> <p>ソーラーパネルと屋根材に、L型台座と伸縮金具底部がしっかり接地・接着するように、ボルトを回して調整して下さい。</p> <p>■ 伸縮金具は最大1m間隔及びコーナー付近に設置して下さい。</p> <p>全ての伸縮金具を設置後にフェンスの取り付け作業(次ページ)に進んで下さい。</p>

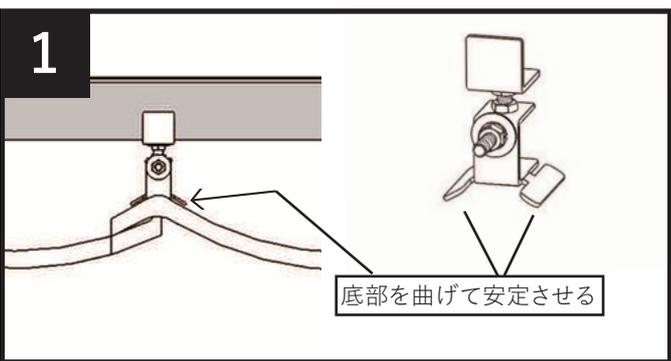
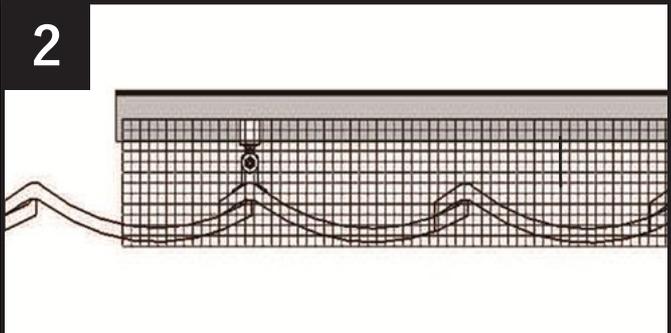
3-2. フェンスを取り付ける

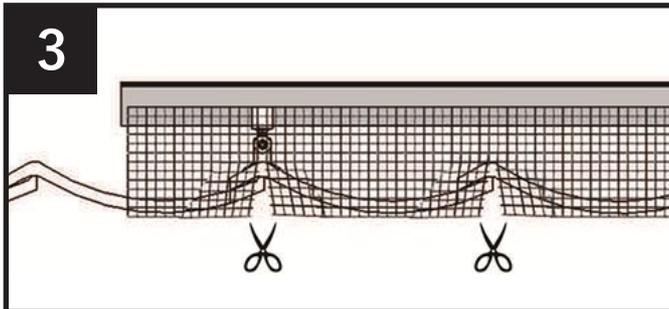
<設置面がフラットの場合>

<p>1</p>  <p>2マス以上かかるように</p> <p>余った部分は外へ流す</p>	<p>■フェンスの上部2マス以上が上のソーラーパネルに掛かる様にしてフェンスを取り付けて下さい。この時、フェンス下部の余った部分は外へ流してフェンスを曲げながら取り付けて下さい。</p>
<p>2</p>  <p>押さえて隙間を無くす</p> <p>押さえて凹ませる</p>	<p>■ナットをしっかり締め付け、フェンスは外から押して少し凹ませるようにして下さい。</p> <p>※この作業によってフェンスの凸凹やたわみが取れ、強度が出ますので必ず行って下さい。</p>
<p>3</p> 	<p>■フェンスの中央上部を図の矢印方向に軽く指ではじいた時に、フェンスがたわんだりして隙間が出来ないことを確認して下さい。</p>

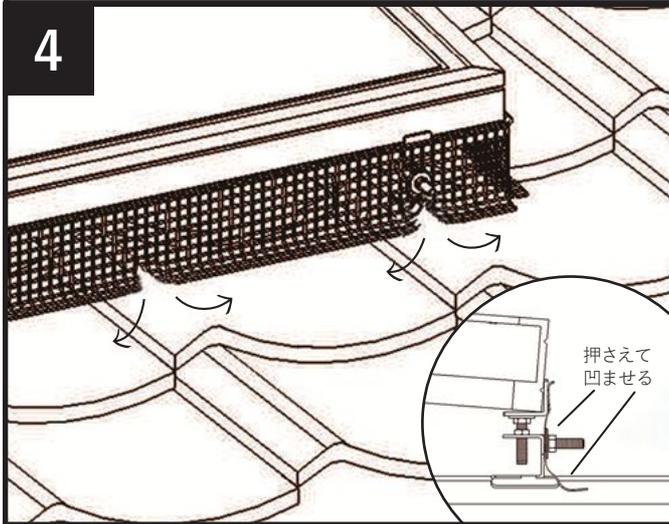
<設置面がフラットでない場合>

※下記方法でも伸縮金具を立てられない場所の場合はスライド金具をご利用下さい。

<p>1</p>  <p>底部を曲げて安定させる</p>	<p>■設置面がフラットでない場合は設置面の形状に合わせて伸縮金具の底部をプライヤー、ペンチ等で曲げて下さい。</p> <p>※【3-1-3】を参考に伸縮金具に両面テープを貼り付け又はボンドを塗布して下さい。</p>
<p>2</p> 	<p>■<設置面がフラットの場合>と同様、伸縮金具にフェンスを取り付けます。</p>



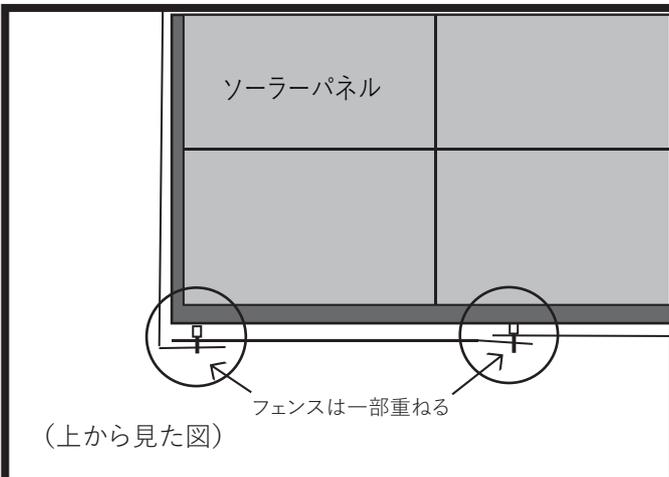
■凸形状の部分に金切りバサミやニッパーで切り込みを入れます。



■凸凹形状に沿わず様にフェンスを押さえて曲げます。この時、鳥や小動物が侵入出来ない様に隙間を無くして下さい。
フェンスの余った部分は外へ流して下さい。

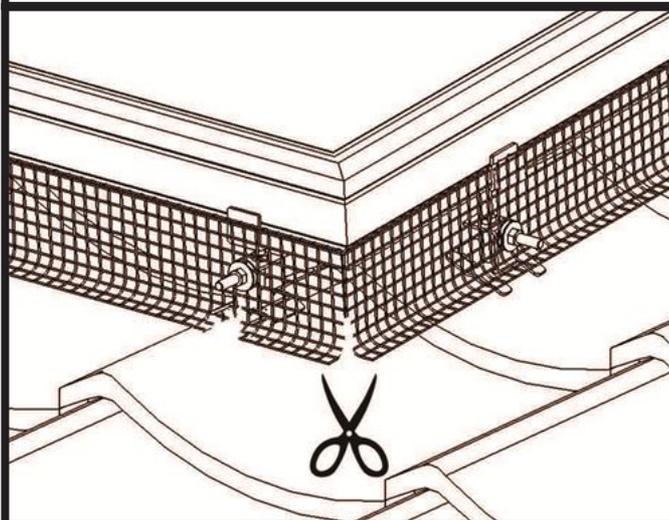
■フェンスを取り付け後、外から押して少し凹ませるようにして下さい。

※この作業によってフェンスの凸凹やたわみが取れ、強度が出ますので必ず行って下さい。



<フェンスの重ね処理について>

■フェンスは図の様に重ねて(2マス以上)取り付けて下さい。



<コーナー部のフェンス取り付け>

■コーナー部は切り込みを入れて対応して下さい。